

文学研究科副専攻「EU-日本学」 特別講演会

関西大学文学研究科副専攻「EU-日本学」では、公開講演会を開催します。
講演言語は日本語です。一般参加も含め多数のご来聴をお待ちしております。

イタリアと日本の「長い60年」 ー比較的な視点からー

「1968年」をシンボルとする1960年代は、50年代に始まり70年代に終わった世界規模の革命期であった。とくに1956年、日本、イタリア、英国に誕生した「新左翼」運動の発展は、時代を象徴する重要な現象の一つである。同時期に発生したカウンター/サブ・カルチャーは新たな芸術表現を生み、政治的影響力をも及ぼした。こうした変革を「長い60年代」という観点から再考し、当時の政治・経済・社会・文化における革命的变化を読み解いていく。

日時

2019年7月2日 火 (聴講無料)

18:00~19:30

会場

関西大学 千里山キャンパス

尚文館 4階 404 講義室

講師

Marco Del Bene 氏

(ローマ・サピエンツァ大学)

講師プロフィール

専門分野は日本近現代史。日本の社会や制度、経済史などに関する著作を発表しており、近年では日本の大衆社会の起源と発展について、特にマスメディアの観点から研究している。著書に*Mass Media e Consenso nel Giappone Pre-bellico*(Liutprand, 2009)がある。

尚文館
(⑥の建物)

総合図書館
(⑧の建物)



主催：関西大学大学院文学研究科副専攻「EU-日本学」

お問い合わせ：Tel 06-6368-1111 (+3979), E-mail eu-japanology@gmail.com

